

ソサエティ5.0の世界で生きる

岐阜市立梅林中学校 2年

豊田 梨乃

あなたは、「技術の進歩」についてどう思いますか？便利だと思う人、そんなことないと思う人、一人一人いろいろな意見があるでしょう。私は少し怖いと思います。

「少子高齢化」それは日本の抱える大きな問題のひとつです。昔から少しずつ人口が減少していることの積み重ねなので、今、親世代も少なくなっています。そのため、一気に人口を増やすということは、困難とされています。人口が減少すると、働き手の減少につながり、そこから労働時間が増えるというようにループしていきます。その問題を解決するために利用され、進歩しているものが、技術そして様々な機械です。

例えば、ドローンで荷物の配達をできるようにしたり、無人で運転できるバスを作ったり、遠隔で医療をできるようにしたり…。これはまだ一部分でしかなく、とてもたくさんの技術がいずれ出来るとされており、一部ではもう行われていることもあります。

私がこういった技術の進歩を知ったのは、社会の授業からでした。「ソサエティ5.0」という世界がくるという授業で、これからこういった技術がでてくるのかということを学びました。その時に私は少し怖いと思いました。単純に考えて、きっとこのようなすごい技術にはデメリットが無い訳がないと思ったからです。けれど、技術が進歩することはもちろん良い事でもあります。では、今のまま技術の進歩が進んでいくとどんな問題点やデメリットがあるのでしょうか。

現時点で技術の進歩による問題点はいくつかあります。例えば、仕事の働き口が減りすぎて仕事に就けない家庭とその他の家庭との金銭的格差が広がっていったり、今でもそのたびに取り上げられるフェイクニュースのようなものを誰でも作れるようになったり、ネット上の情報が多いがために人が何も考えずに困った時、すぐネットで調べてしまうようになるというようなことなどが問題点としてあげられます。しかし、これらの問題点も一部で、実際には、もっとたくさんの問題があります。その問題の解決法としては、ITなどの機械に頼りすぎずに人との関わりを増やしていくことだと私は思います。

けれど、今の世の中、人に聞くよりも調べた方がはやいというような世の中です。現時点で全員が全員、機械に頼らずに人との関わりだけで生きていくことは不可能でしょう。私だって機械を利用した方が便利だと思いますし、実際にも様々な場面で利用しており、それ無しで生きていくのはほぼ不可能にも近いでしょう。でも、きっとこういう人は私だけではないと思います。

例え、多くの人が私のように機械に頼っていたとしても、このまま頼りっぱなしでは人がダメになることが目に見えています。しかし、今これだけ色々な機械が普及している世の中では、機械なしで生活することなどできません。だから、少しずつでも、誰もが機械に頼りっきりにならないように、何でもかんでも任せてしまわないようにしていくことが大切だと思います。

様々な技術は今までたくさんの人の研究の積み重ねからできています。その時その時でどんなものが必要なのか考えながら便利なものを開発していったはずなので、もちろん便利な技術が多くあります。けれど、デメリットが全く無いものなどありません。このような技術があまり発展しすぎると、どんどん人が退化していつてしまう可能性があります。だから、技術をうまく活用しながらそんな中でも、一人一人の意見や感情、人と人とのつながりを大切にすること、そして、まずは自分で考えて、たくさんの人と協力しながら行動するというのが、これからの世界において重要だと思います。そして、誰もが他人事だと思わずにこの問題に向き合うことが大切です。さて、

「あなたは どう 思いますか。」